

ワールドカップ親戦から思うこと

校長 中基 信夫

この原稿を書いている今は、日本が強敵コロンビアに勝利した翌日。絶対的エースのハメス・ロドリゲスの不調で、4年前に対戦した時とは明らかに雰囲気は違っていました。試合前は「よくて引き分け、0-1で負けは許容範囲かな??」などと生徒たちと話をしていたところでした。ところが結果はご覧のとおり…。

これは、これから3年生最後の総体にも言えること。強豪相手に戦う組み合わせになっても、やり方を工夫すれば勝機を見出せるかも知れないし、県大会出場確実と思っていたても、相手の策にまんまとはまってしまえば足元をすくわれることに。試合前に何も考えずに臨んでいては勝負になりません。顧問の先生や部員たちと相談することは絶対に必要です。プロサッカーのレベルでさえ攻め方を意思統一し、頑なに全員でそれを貫けば勝利を呼び込めるのですから、中学生スポーツで出来ないことはないはずです。今年の総体は去年よりも頭を使ってみては…! ?

